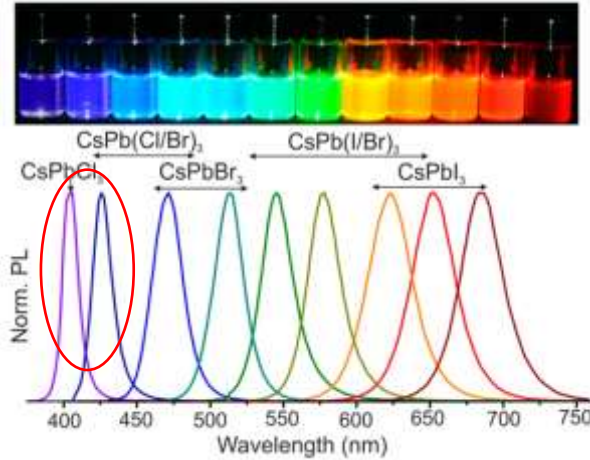


青色発光ペロブスカイト量子ドットの合成と光物性

背景

LEDの次世代材料候補としてペロブスカイト量子ドット (PQDs)の研究が盛ん



通常の合成方法では青色発光領域におけるPQDsの発光効率が低い

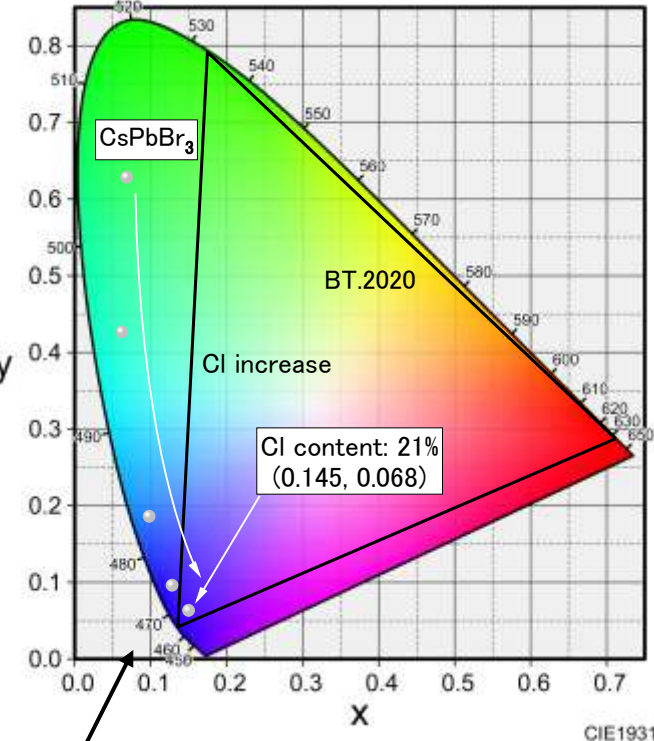
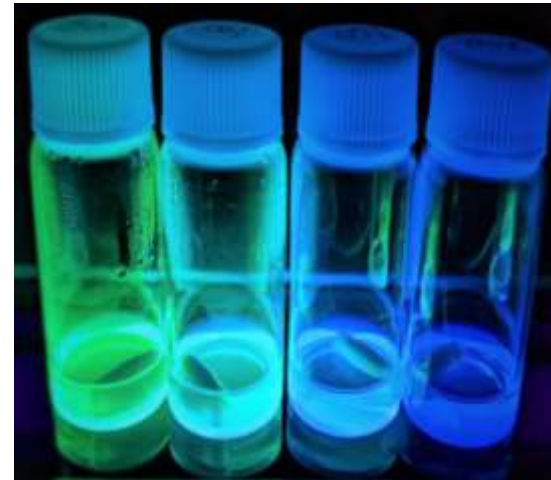
目的

青色発光領域における高発光効率の塩素臭素混晶のPQDs合成

やっている研究内容

色座標測定

実際に合成した青色PQDs



BT.2020 Blue primary
(0.131, 0.046)[7]